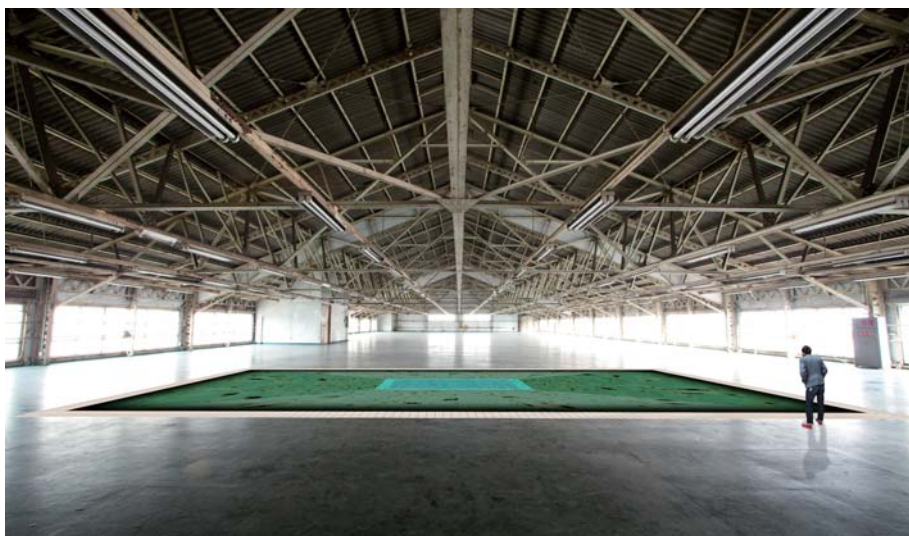


平成25年度アーティスト・イン・レジデンス事業  
- 近代化産業遺産を活用したアートスペースによる国際連携プログラム -

## ヨルン＝ビシュルー制作発表 「POOL - loss of color -」開催のお知らせ



### Airtist-in-Residence in SHIPYARD

本事業は大阪の造船工場跡地を改修した複合芸術施設「クリエイティブセンター大阪」と、同じくオランダはアムステルダムに位置する広大な造船工場跡地を改修したアーティスト・ラン・スペース「NDSM Warf」による国際連携を目的として2011年から始められ、今年で3年目を迎えました。本年度はNDSM Warfで活躍するオランダ出身の美術作家 ヨルン＝ビシュルーが長期滞在制作を実施するほか、造船所跡地である NDSM Warf をアート施設として再生を果たしたエヴァ・デクラーク、そして現NDSM Warf財団代表を務めるアンヌ・マリー＝ホーグランドが来日します。

(※アーティスト・ラン・スペース= アーティストが運営を行うスペース、施設)

### ”POOL - loss of colour-” 色彩の喪失

来日したヨルン＝ビシュルーが真っ先に訪れたのは、宮城県仙台市でした。

このプールの作品は、7.5m×15mの巨大な絨毯で出来ています。仙台を襲った津波や福島における災害を一つのイメージに、そして一つのカーペットに落とし込み制作しました。

震災後に繰り返し襲ってきた波により、海岸側にあった農地はほぼ完全に流され、そこにあった全ての色が失われてしまいました。塩分を含む海水は、あらゆるものを暗く、灰色に、そして色を失わせました。そこに住んでいた人たちは、かつてその土地に色を与えてきました。家を建て、車を使い、衣服、木々に花、畑、森、庭を使って身近な所を彩りました。

このカーペットは二つの災害を私たちにとって身近なスケールに置き換えることで、その災害がどこか遠くの出来事とならぬよう人々に感じさせることができます。日本だけではなく、世界中で今後起こり得るさらに大きな悲劇の脅威を、作品に変換しました。

#### ヨルン＝ビシュルー制作発表

##### 「POOL - loss of color -」

- 会期 3月7日(金)～3月11日(火) 11:00-19:00
- 場所 グランフロント大阪北館 / ナレッジキャピタル1階 ナレッジプラザ
- 主催 一般社団法人ナレッジキャピタル(制作発表主催)、リッジクリエイティブ(株)(AIR事業主催) □企画制作 ART COMPLEX
- 協力 住之江区、オリジナルフロア.com
- 助成 平成25年度 文化庁文化芸術の海外発信拠点形成事業

#### 「POOL - loss of color -」先行公開

2月27日(木)～3月2日(日)11:00-17:00

※クリエイティブセンター大阪4階原図場にて上記期間先行展示

#### ■お問合せ■

クリエイティブセンター大阪 担当:細貝、下川  
〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 名村造船所跡地  
TEL 06-4702-7085 / MAIL cco@namura.cc  
<土日休館(※イベント開催時除く)、月曜不定休>

**参加イベント**

2月10日 住之江区主催 ラウンドテーブル『シャベリバ』

アーティスト:ヨルン=ビシュルー

場所:北加賀屋、ク・ビレ邸

2月13日 ヨルン=ビシュルー講演『都市空間の美術』

対象:高校生

場所:大阪府立港南造形高等学校

2月15日、16日 "BIRDS" ワークショップ【地域の方向け】

アーティスト:ヨルン=ビシュルー

対象:住之江区在住の方

場所:大阪市立住之江特別支援学校

2月20日 "BIRDS" ワークショップ【高校生向け】

アーティスト:ヨルン=ビシュルー

対象:大阪府立港南造形高校生

場所:大阪市立住之江特別支援学校

2月26日-3月2日 "POOL" 原図場展示

アーティスト:ヨルン=ビシュルー

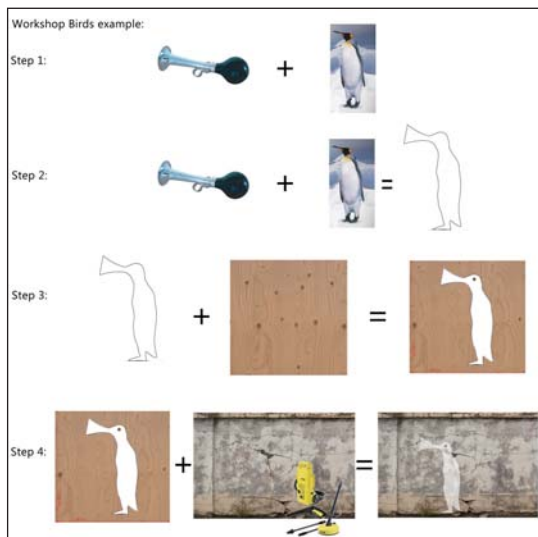
場所:クリエイティブセンター大阪

3月7日~11日 "POOL" 制作発表、トークセッション

アーティスト:エヴァ・デクラーク、アンヌ・マリー=ホーグランド、小原啓渡 ほか

場所:グランフロント北館 / ナレッジキャピタル 1階

**■"BIRDS" ワークショップ**



**■"BIRDS" ワークショップの様子**



※住之江特別支援学校、外壁にて

**ARTIST**



**Jeroen Bisscheroux ヨルン=ビシュルー**

1963年オランダ生まれ。アーティスト、デザイナー。  
都市の中の公共空間における作品=パブリックアートを中心に制作するアーティスト。「音」をテーマとした鑑賞者が体験出来る参加型の作品を多く制作し、国内外で高い評価と注目を集めている。近年では「持続可能性とは何か」という点を大きな課題として作品を制作している。  
『私は公共スペースや都市の中にあるもの、或いは社会的に重要な役割を果たすプロジェクトにコンセプトを置いています。私が作るほとんどの作品は相互性を持ち、ユーザーや観客に、より個人的な現実を投げかけます』

**Eva-de Klerk エヴァ・デクラーク**

>> NDSM Warf 創始者、プロジェクトプースター

**Anne-Marie Hoogland アンヌ・マリー=ホーグランド**

>> NDSM Warf 財団代表

**■お問合せ■**

クリエイティブセンター大阪 担当:細貝、下川

〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55 名村造船所跡地

TEL 06-4702-7085 / MAIL cco@namura.cc

<土日休館(※イベント開催時除く)、月曜不定休>